

妻犯

さいはん

彩奈の場合

聞きましたか
三上さん？

妻を
他人に抱かせたい

あ……
彩奈……

んなに
の方まで

それにしても
なんてスケベな身体を
しとるんだ

アンタも
そんなも

頭の
足の
白ム

彩奈は
俺のものだ

愛する妻を
他人に抱かせる倒錯愛

もう
引き返せない

いったい
いつからだろう

あつ
……ああ

へっへっへ
まさか奥さんと
こんな関係に
なれるなんてな

はっ

はは

世の中
何が起ころか
わからない
もんですなあ

あつ
……

いやあ……
……ダメえ

あ……
……んっ

恨むなら
自分の旦那を
恨みな

こんなに邪悪な欲望を
抱くようになったのは――

はあ

いゅぽ

はあ

いゅぽ

はあ

女房を他の男に
抱かせながら
情けない顔して
マスかいてる男をよ

シッ

シッ

ああ



あなた
……ああ



妻を
他人に抱かせたい

あ……
彩奈……



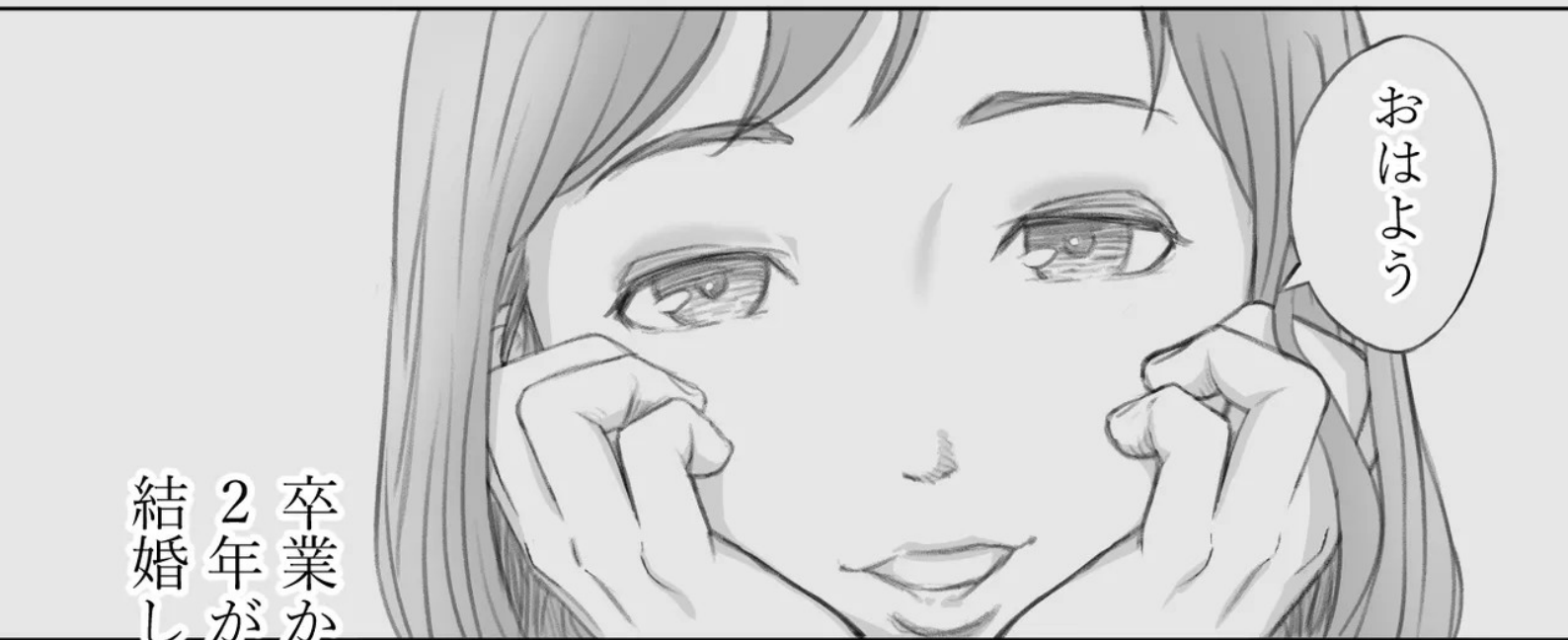
俺は
アンタの旦那に
頼まれただけ
なんだからよ

ああん

妻を犯して
くれってなあッ

妻が
犯される姿を
見てみたい





卒業から
2年が経ったところに
結婚した



今年で26歳になる
彩奈は幼い顔立ち
をしているが

ムツチリとした
身体つきで
胸もFカップはある

夫である
僕から見ても魅力的で

はつきり言って
男好きのするイイ女だ

あなた
いってらっしゃい

街ですれ違う男たちが
彩奈にいやらしい目で
視姦してくることも
よくあった

そして決まって僕は
そんな男たちに犯される
彩奈を想像して
何度もオナニーをした

はむう

あつ…
ン…む

今までは
それで満足だった

なるべく
早く帰って
くるよ

朝から
お熱いですなあ

そう
今までは……



猪俣 おさむ

お二人とも
まだお若いですから
当然といえば当然
ですかな？



猪俣さん……
おはよう
ございます



おはよう
ございます
……………



なあ？

え……ええ
……………

いやー……
予定というのは
特に……………

ははは……

どうですか
そろそろ
お子さんの
予定なんかは？



なにかと

僕たちのことを
気にかけてくれる
人のいい大家さん
なのだが……………



それは
もったいない
ですなあ

ただひとつ気になるのは
この人も他の男たちと同じように

こんなに
素敵な奥さんが
いるのにそれ
はないでしょー
三上さん？

い……いえ
私は別に……

奥さんも
さぞかし淋しい
でしょうに？

入居当初から
彩奈を視姦するように
見てくることだ

もし奥さんが
私の女房だったら
今ごろ大家族に
なってますよ

そ……そんな
……

昨年奥さんを
病気で亡くしてから
それが露骨になった
ように感じる



三上さん
頑張らないと

なんなら私も
お手伝いしましょうか？
は……はっははは……



なにも起こらなければ
いいのだが……と
不安を覚える一方で

「なにか」が
起きてほしい

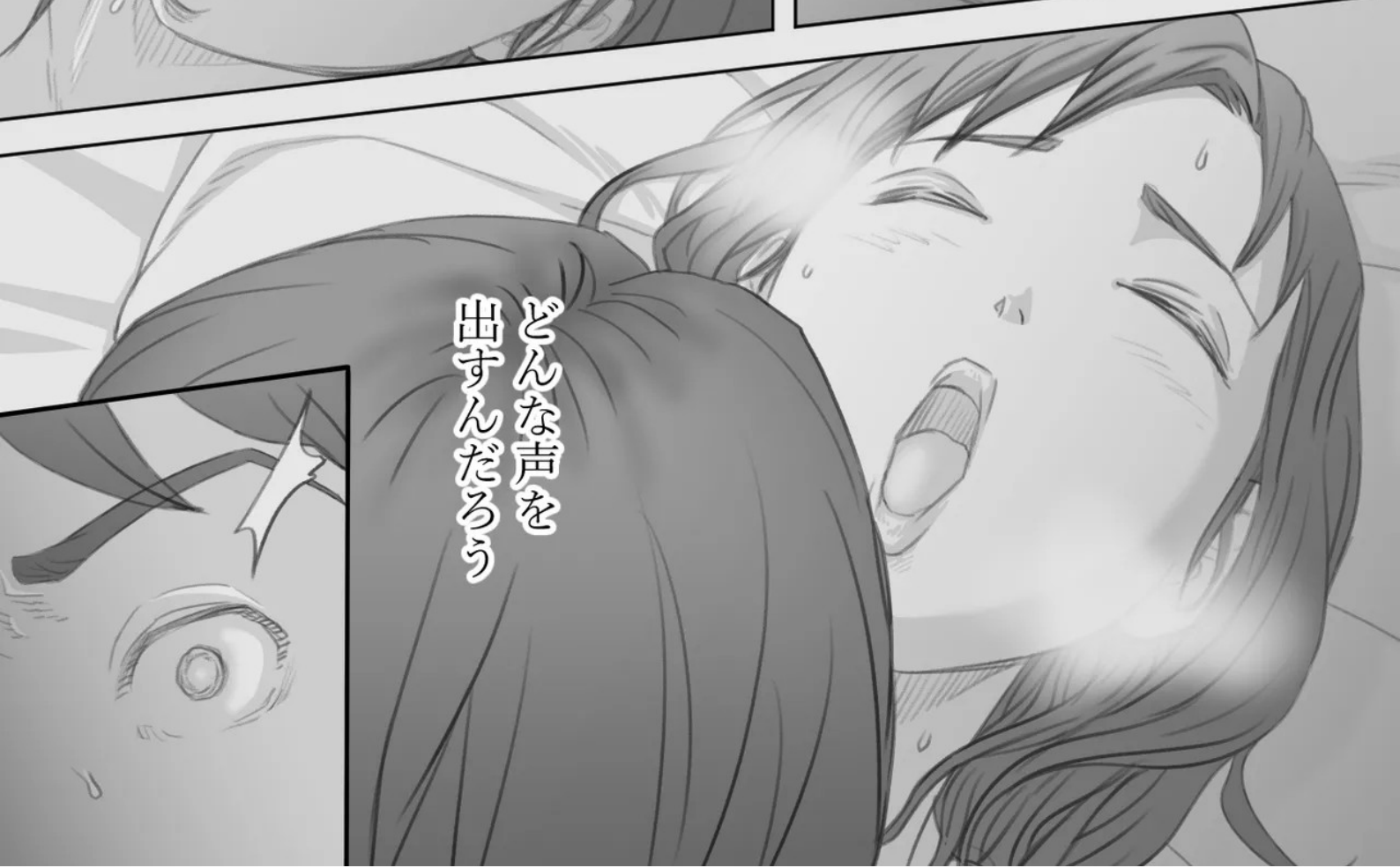
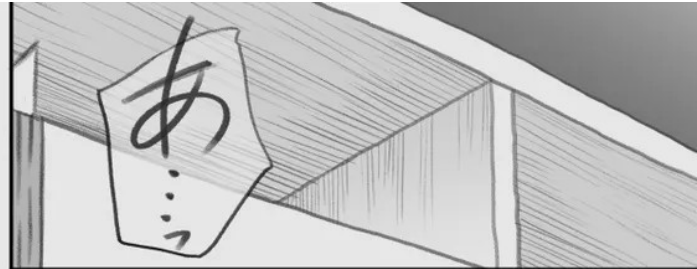


そう期待している
自分もいる

おそらく
この時すでに
僕たちの未来は
決まっていたのだろう



他の男に抱かれる
彩奈はどんな顔を
するんだろう



どんな声を
出すんだろう



そうです
上手ですよ
奥さん



はむっ

ねちゃあ

103



もっと舌を
絡ませて



あ……あなた
……っ

……
!?

どうしたの
……!?

渡さないっ

!!



彩奈っ

苦悶する
彩奈の顔を見たい



彩奈は
俺のものだっ

あなたっ!?



羞恥に焼かれながら
漏れ出す声を聞きたい

すごいっ
激しい……っ



誰にも
渡さない
……っ



彩奈は
俺のものだ

っ



もう止まらない



はあ

はあ



あなた
……

数日後



僕は猪俣に会い
すべてを話した

僕の欲望の
すべてを



最初は驚いていた猪俣も
撮りためておいた
彩奈のスケベな写真を
見せると



なかだし
膣内射精はしない
という約束で



すぐさま
その顔はいつもの
好色さをとりもどした



僕たちは
悪魔の契約を交わした





いいいや……
たまには
こういうのも
いいだろ……？



ねえ……
子供のこと……真剣に
考えてみない……？

え……？

あなたがいないとき
私いつまでも
一人じゃやっぱり
寂しいし……

あ……ああ
そうだな
考えとくよ

もう
引き返せない



清楚な顔して
とんだ好き者
じゃないかつ

ブル

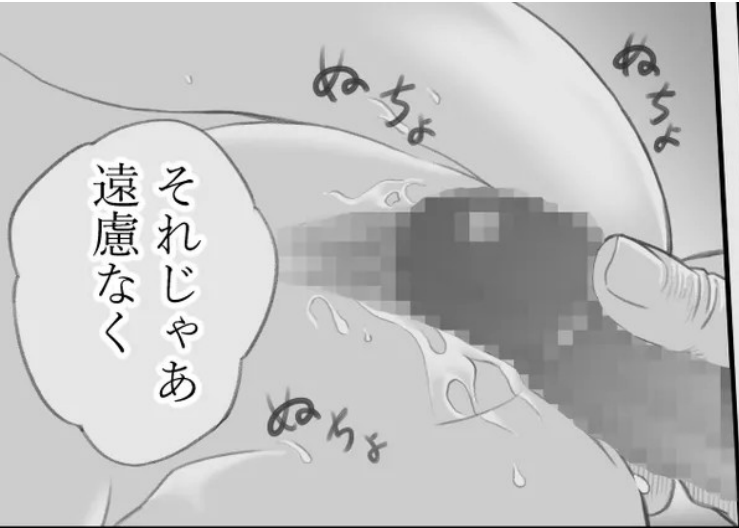
こ.....
こんなものが.....

いゅわ

あなたあ
はやく.....

はやく
ちようだい

ねえ
おねがい



それじゃあ
遠慮なく



人妻オメコ
いただきます
.....



あ...ああ
今挿れるよ

いじわるして
焦らさないでえ



よ

ズッ

ん ああ !!

おっ大きい

っ

あ

なんでっ!?

あ

あなた………
なんで今日は
こんなに………

あ

あん……
あ

／＼

／＼

／＼

大きいのお!?

それは優しい
大家さんの
デカマラだから
だよ

はあ

はあ

あ……
すごいっ

こんなっ

こんなの
凄すぎる
よお——

／＼

それにしても
なんてスケベな身体を
しとるんだ

あ

あ

頭の天辺から
足の爪先まで
ムチムチとした
白肌……

桜色の乳頭が
激しく勃起した
弾力のあるおっぱい

ぬちゃ

ぬちゃ

ん……あ

ぬちゃ

ほちゃ

男根を膣奥まで
引き込もうと
うねり狂う
とろとろオメコ



最高の女じゃないか——っ

たまらんっ



……誰……!
え……誰……
今の……

あなたっ……
……？



ちがうっ！

いやっ
は……離して……
離してくださいっ



誰……？
誰なの
いったい……

あなた
どこにいるの
……？

い…猪…
…俣…
…さん？

奥さん
こんばんは

はあ

今さら何を
言ってるんですか
さっきまであんなに
悦んでいたじゃ
ないですか？

な…なんで
猪俣さんが
…っ!?

離れて
くださいっ

ほっ

だって
それは…

下のお口だって
こんなにグチュグチュ
悦びの泣き声を
あげてるじゃないか

ほれッ

ち…ちがいます
はやく抜いて
くだ…

ああっ

へっへっへ
まさか奥さんと
こんな関係に
なれるなんてな

世の中
何が起ころか
わからない
もんですなあ

勇二さん
助けて……

あなたあ
………

恨むなら
自分の旦那を
恨みな

あ……
彩奈

女房を他の男に
抱かせながら
情けない顔して
マスかいてる男をよ

あなた
………
どうして
………?

俺は
アンタの旦那に
頼まれただけ
なんだからよ

気持ちいいのか
………彩奈？

そ…そんな
こと………

隠さなくて
いいんだ

ほら……

俺だって
もう………

正直に言ってくれ
気持ちいいんだろ
………？

妻を犯して
くれって
なあッ

あぁ

ほれほれ——っ
旦那も奥さんの
今の率直な気持ち
聞きたいんだとよ
どうなの？
ほれっ！

スポッ

スポッ

い
い
い
い
い

ア
ア
ア

気持ちいい
のお——っ

猪俣さんの
大きなおチンポ
気持ちいいのお

おほっ
本当ですか
奥さん？

旦那さんのと
どちらが
イイ具合ですか？

ん……？
ほれほれえ

ん？
なんだって
奥さん？

アッ……
……ン

……

はあ……

……侯さん
……です……

もつとはつきり
言わないと
聞こえないだろお

こんなに
奥の方まで
突かれるの
初めてなの
おっ

猪俣さんの方が
おつきくて
気持ちいいですっ

聞きましたか
三上さん？

アンタも
とんでもない
淫乱女を嫁に
しましたなあ



俺たちだけ
楽しんでも悪いから
旦那のチンポも
しゃぶってやれよ
奥さん？

はあ

はあ

ああ
ああ
彩奈……

くちゅ

ふあい……
あむ……ン

くちゅ

くちゅ

ジュル……

他の男に
ハメられながら
旦那のチンポ
しゃぶるってのは
どういう気分
なんだ？

ん……ほんなほほ
……ひはないへ
ふははい……

はっ
はっ
はっ

ああっ
もう辛抱
たまらんっ

そろそろ
イきますよっ



やっぱり
若い女は
最高ですなあっ

スッポッ

スッポッ

パン



まさか
これっきりなんて
言いませんよね
三上さん？

私は
奥さんとだったら
何発だって
やれますよっ

奥さんの反応も
イイようだし
ねえ奥さん？

ん…む
あむ…

ジュポ

ジュポ

ジュポ

ぬふん

ぬふん

ぬふん



おお
イクっ

イクぞお

ツ

ダメだ
もう腰が
止まらんっ

あ……
彩奈っ
それは……っ

そんな……っ
中出しはしない
約束じゃ……っ

んむ……
……んう

アッ
ッ

アッ
ッ

気持ちよく
なっちゃダメ
なのに……っ

ダメ
なのに
……っ

気持ち
いいい——

っ

あなた……
ごめんなさい

ねっちょ

ねっちょ

わたしも

……

いきます……っ

ビクッ

あ……
あ……

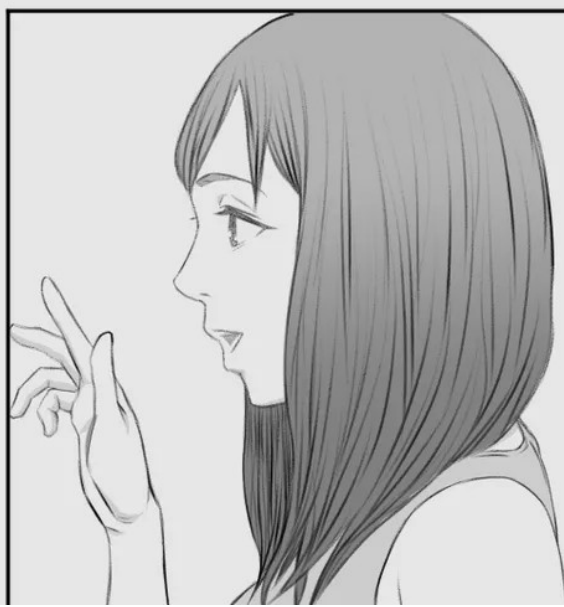
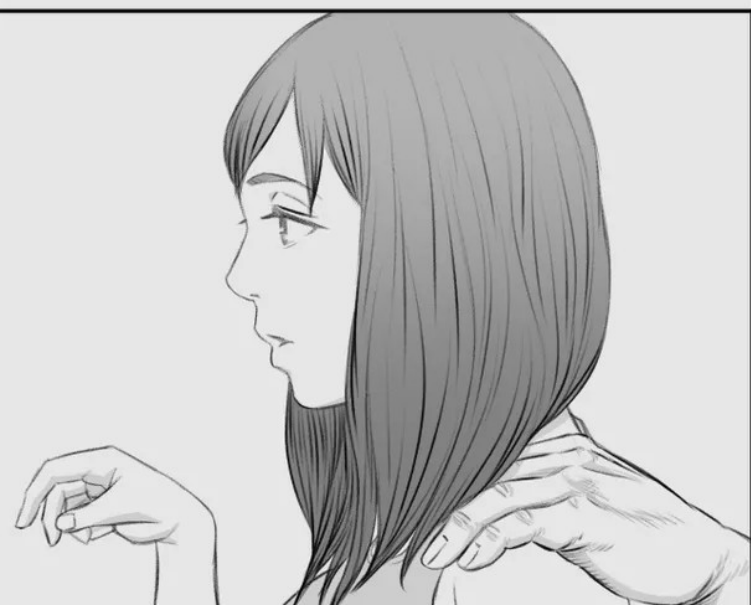
いつ……き

ますううう

……っ

イっ
ちやうのお
おおおつ

僕は
妻を愛している



新しい愛し方を見つけたから

